

「おはようございます」— 元気なあいさつが響きます。(4月16日 朝)

「捨てるのはもったいないから」— 先日、厨房器具から食べ物を直接口にするアルバイト店員の動画がニュースで紹介されていました。

コンビニやレストランなどで、アルバイト店員がスマホで不謹慎な動画を撮り拡散。これが数年前から大きな問題となっています。1つの店舗ばかりか会社も危うくする動画投稿は、「バイトテロ」と呼ばれるほどです。

上の報道も拡散した動画が発端でした。信頼を回復するために、会社は膨大なお金と時間をかけて広報や社員教育を行うこととなります。

そのニュース後半でIT評論家が次のように話していました。「仲間内ねらいの悪ふざけの動画投稿。しかし、それが他者に保存され次々にアップされると、ネット上から決して消えることはない。」そして「身元はすぐに特定される。多額な賠償を求められたり、将来の就職や結婚に響くことにもなりかねない。」

最後にこんなコメントが— 「この動画をアップしても大丈夫か。送信をタッチする前に真剣に考えてほしい。」

写真や動画の投稿、あなたは大丈夫ですか。

バイトテロ

SNSやゲームとの関わり方(1)

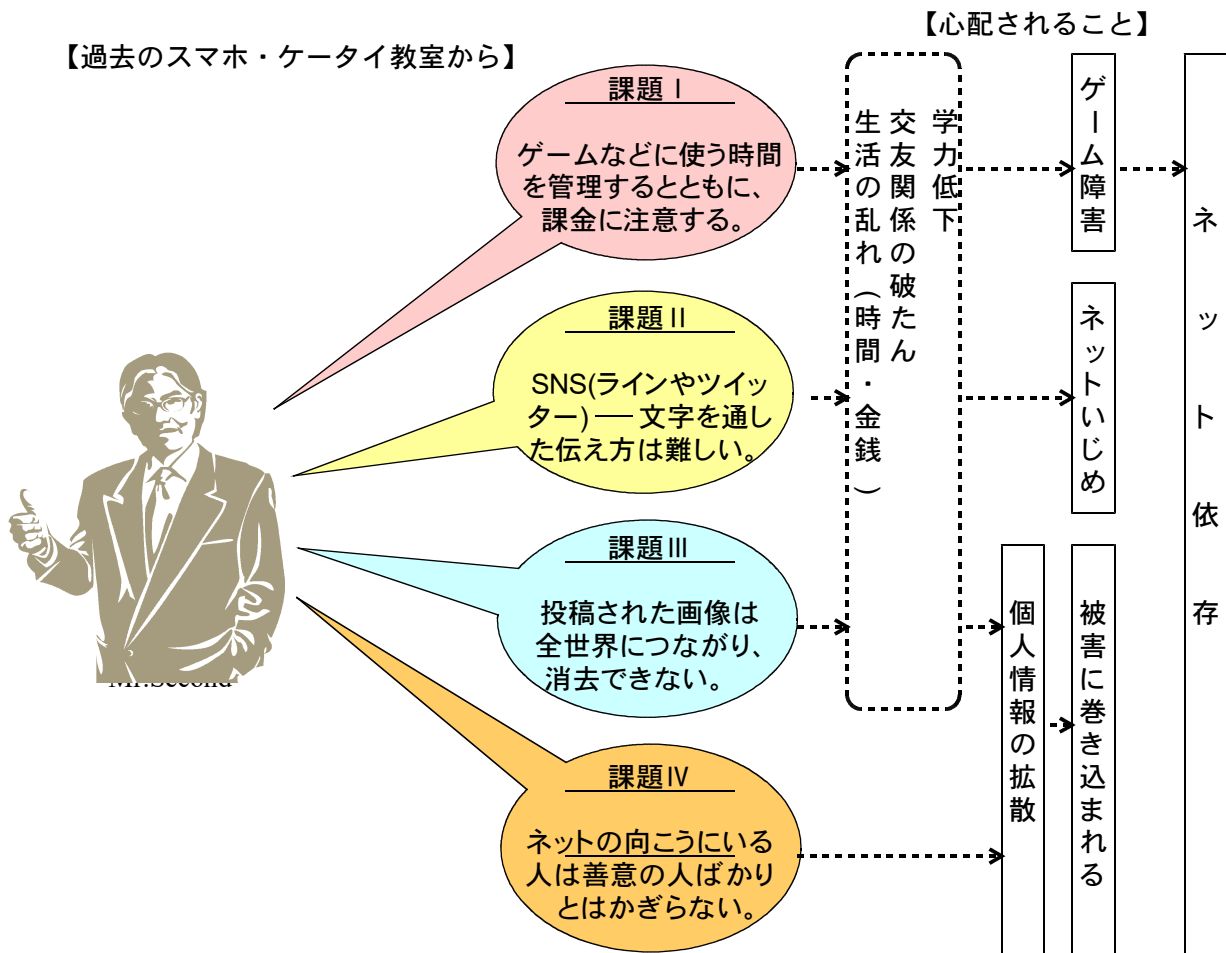
昨年度に発行した2学年通信では、スマホやSNS、ゲームへの向き合い方について15回に渡り話題にしてきました。おおよそ8号に1回の割合です。中学生にとって、スマホやゲームがいかにかに生活や学習、進路に影響を及ぼすか懸念するためです。3年生に進級し、進路実現に向けた取り組みが始まりました。本年度の3学年通信でも現状や課題、対処法などについて随時話題にしていきます。

「スマホやゲームを御する者、受験を制す」

【2学年保護者会(3/19)資料より】

スマホはこれからの社会を生きて行く上で必要不可欠なツールです。その使用のスキル(能力)を高めていくことにより、上級学校での学習や将来の仕事にとって大きな武器・味方となり恩恵をもたらします。それを承知の上で、保護者として考慮すべき点がたくさんあるように思われます。子にいつスマホを持たせるか、持たせているならばどのような使わせ方をさせていくか、熟考する必要があるのではないのでしょうか。

【過去のスマホ・ケータイ教室から】



- 【学年目標】 ■自ら判断し行動し下級生の模範となる生徒 ■自ら学びに取り組む生徒
■お互いの良さを認め、思いやる気持ちを持てる生徒